

佐々寅商店作

「どこまでもつづく赤屋根」

明治40年頃～

素材：トタン、ペンキ

孤立行政法人トタン葺き推進機構コレクション

SASATORA store

LONG LONG RED ROOF (1908 JAPAN)

penki on totan

 totan

明治40年頃、初代商売開始。50mもの長さの店舗兼住宅を建てる。当時から屋根はトタンと思われる。車のない時代、町中の住民が日用品を買いに歩いて集まり、店がにぎわった。多いときは従業員10名ほどが2階に住み込む。中庭でニワトリを飼育し、毎朝たまごを確保（牛小屋もあり）。以来、10年に1度は、なじみの何でも屋さんペンキ塗りを打診している。

 totan

旧平竹精肉店作

「やさしくあたたかい青い波」

1910年頃～

素材：波トタン

孤立行政法人トタン葺き推進機構コレクション

butcher's shop of HIRATAKE

KINDLY WARM BLUE WAVES (1910 JAPAN)

blue totan wall

 **totan**

1910年ごろから精肉店として営業。当初から屋根はトタンひし形葺き(推定)。2階には明かり取りの格子がついており、壁は土壁だった。

1950年ごろ、すきま風を防ぐため、土壁にトタンをとりつけた。2階を窓ガラスに変える。南向きでたくさんの光が入るようになった。15年に1度、なじみの板金屋さんペンキ塗りを打診。

 **totan**

佐藤製菓作

「グレイのパッチワーク」

1945年頃～

素材：波トタン

孤立行政法人トタン葺き推進機構コレクション

SATO's sweet shop

GRAY PATCHWORK (1945 JAPAN)

wave totan

 **totan**

シルクロード作

「スモーキーなブギをきいてくれ」

1965年頃～

素材：波トタン、トタン

孤立行政法人トタン葺き推進機構コレクション

SILK ROAD

LISTEN TO MY SMOKEY BOOGIE (1965 JAPAN)

wave totan

 **totan**

1965年頃、駄菓子屋として繁盛。シルクロード初代も、足しげく通う。

1970年頃、初代、東京へ進出し夜の世界で活躍。同じ頃、駄菓子屋の土壁にはトタンが貼られる(推定)。

1980年頃、初代が土澤に帰還。駄菓子屋が空き家となっていて、いるところにシルクロードを立ち上げる。現在は開店当時の客の子どもたちが次々に成人。親子2代でボトルを入れる。

 **totan**

吾助堂作

「遠赤外線レッドアラート」

1800年頃～

素材：波トタン、トタン、ペンキ

孤立行政法人トタン葺き推進機構コレクション

GOSUKEDO

FAR-INFRARED RED ALERT (1800 JAPAN)

wave totan

 **totan**

1800年代前半、初代が伊達藩から土澤に移住し、豆腐屋「吾助堂」誕生。そのころから薪を使った製法は変わらない。1800年ごろ、店舗を建て替える。当時、手元に残ったトタンをつかい、六代目がセルフビルドで薪小屋を制作。一時、ボイラーに変えるかどうか迷ったが、薪からでる遠赤外線が豆腐をおいしく作ることを重視し、薪をつねにストックすることを決意。

 **totan**